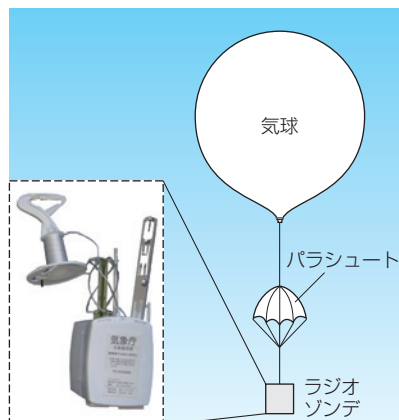


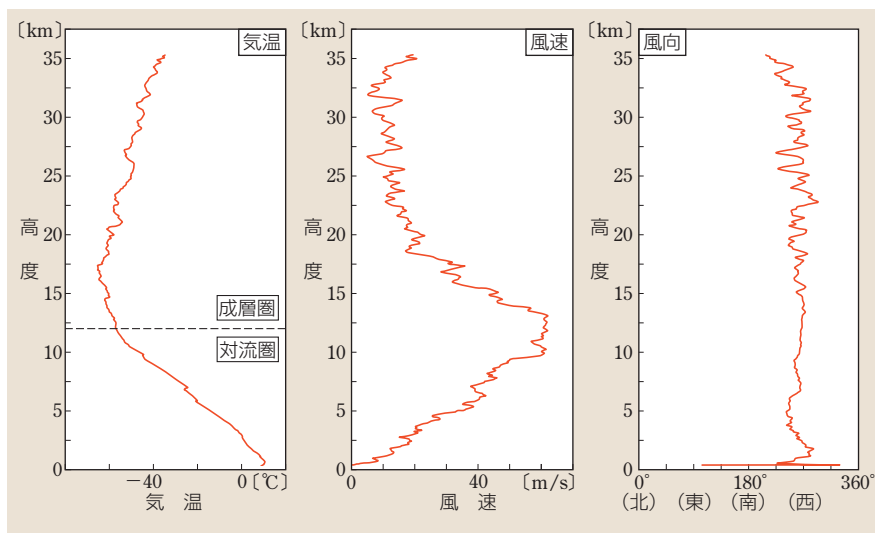
また、地球の大気環境の実態や長期変化を把握するために、二酸化炭素やメタンなどの温室効果ガスや、オゾン、エーロゾル(→ p.293)などの大気の微量成分も、世界各地で観測されている。

●高層気象観測● 高度約 30 km までの気圧・気温・湿度・風向・風速の精密

観測は、複数のセンサーが搭載されたラジオゾンデ^{a)}とよばれる観測器を用いて行う。世界時(→ p.314)の0時と12時(日本時間で9時と21時)の1日2回、世界同時に約1000か所(日本国内では16か所)で気球につないだラジオゾンデを打ち上げている。図11は日本でのラジオゾンデ観測例である。高度12km付近には対流圏界面が、高度0.5km付近には逆転層が見られる。また成層圏でも一様に気温が変化するのはなく、ゆらぎが見られる。



▲図10 ラジオゾンデ



▲図11 日本でのラジオゾンデ観測の例(2006年11月13日、滋賀県甲賀市)

a) radiosonde